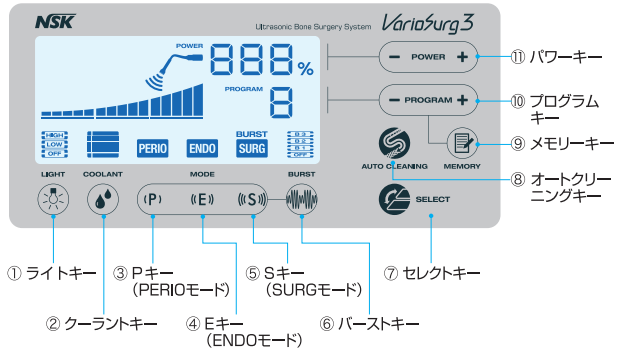


TIP No.	設定モード	パワーレンジ
H-SG1	S	10～150%
H-SG8	S	10～150%
SG58	S	10～80%
SG1	S	10～80%
SG1A	S	10～80%
SG2R	S	10～80%
SG2L	S	10～80%
SG3	S	10～80%
SG4	S	10～80%
SG5	S	10～80%
SG6D	S	10～80%
SG7D	S	10～50%
SG8	S	10～80%
SG8A	S	10～80%
SG9	S	10～50%
SG10	S	10～50%
SG11	S	10～50%
SG14R	S	10～80%
SG14L	S	10～80%
SG17	S	10～80%
SG18R	S	10～50%
SG18L	S	10～50%
SG19	S	10～80%
SG30	S	10～50%

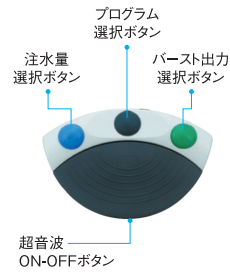
TIP No.	設定モード	パワーレンジ
SG15A	S	10～50%
SG15B	S	10～50%
SG15C	S	10～50%
SG15D	S	10～50%
SG16A	S	10～50%
SG16B	S	10～50%
SCL1	S	10～50%
SCL11D	S	10～80%
SCL12D	S	10～80%
SCL3	S	10～50%
SCL13D	S	10～80%
SCL14D	S	10～80%
SCL5	S	10～50%
SCL15D	S	10～80%
E30RD-S	E	5～50%
E30LD-S	E	5～50%
E31D-S	E	5～50%
E32D-S	E	5～50%
G1-S	S	10～50%
P20-S	P	5～100%
P25R-S	P	5～100%
P25L-S	P	5～100%
V10-S	P	5～100%

〈操作パネル〉

-  ① **ライトキー**
OFF、LOW、HIGHの3段階からハンドピースのライトの明るさを選択する時に使用します。(初期値：HIGH)
-  ② **クーラントキー**
5段階から注水量を選択する時に使用します。
-  ③ **Pキー**
PERIOモード(メンテナンスなどに適したモード)に設定する時に使用します。
-  ④ **Eキー**
ENDOモード(根管治療に適したモード)に設定する時に使用します。
-  ⑤ **Sキー**
SURGモード(骨切りに適したモード)に設定する時に使用します。
-  ⑥ **バーストキー**
バースト出力の設定を選択する時に使用します。(SURGモードの場合のみ)キーを押すたびに、OFF ⇒ B1 ⇒ B2 ⇒ B3 ⇒ OFFと変わります。
※バースト機能：一定間隔で振動を強弱させます。患者の骨の硬さ(骨密度)に応じて選択してください。
※バーストの周波数は、B1:10Hz、B2:30Hz、B3:60Hzです。
-  ⑦ **セレクトキー**
1つのフットコントロールで2つのシステム(本製品とSurgic Proほか、弊社指定の口腔外科マイクロモーターシステム)を操作する時に使用します。
※このキーを使用するには、Surgic Pro(他弊社指定の口腔外科マイクロモーターシステム)とリンクセット(別売品)が必要です。
-  ⑧ **オートクリーニングキー**
ハンドピース内部の注水回路を清掃する時に使用します。
-  ⑨ **メモリーキー**
パネルに表示されている設定値をプログラムに記憶させる時に使用します。
-  ⑩ **プログラムキー (-+)**
プログラムに保存された設定値を呼び出す時に使用します。
-  ⑪ **パワーキー (-+)**
出力を設定する時に使用します。
(+), (-)キーを押すことで、設定値が増減します。
※キーを長押しすると連続で増加又は減少しますが、増加させる場合は安全のため100%で一旦止まります。さらに増加させたい場合はもう一度押しなおしてください。



〈フットコントロール〉



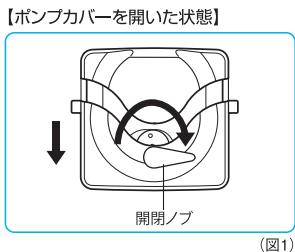
〈各モードにおける出力比較〉

	5%	10%	100%	150%
SURG				
ENDO				
PERIO				

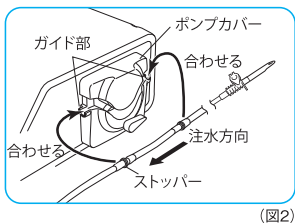
出力

イリゲーションチューブの取り付け

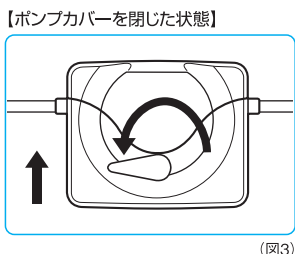
1 コントロールユニット側面の注水ポンプの開閉ノブを時計回りに180度回転させ、ポンプカバーを開きます。(図1)



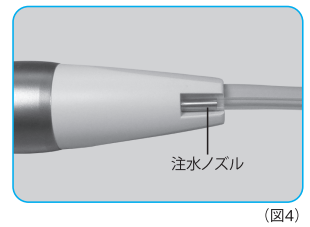
2 ・注水方向を確認して、チューブ部分を注水ポンプ内に挿し込みます。
・イリゲーションチューブのストッパーをガイド部に合わせてはめ込みます。(図2)



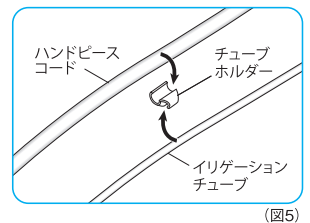
3 開閉ノブを反時計回りに180度回転させて、ポンプカバーを閉めます。(図3)



4 もう一方のイリゲーションチューブ先端をハンドピースの注水ノズルに挿し込みます。(図4)



5 ハンドピースコードにチューブホルダーを挿し込み、次にイリゲーションチューブをチューブホルダーに7箇所挿し込みます。(図5)



⚠ 注意

- ・接続するバックは生理食塩水等の残量が十分にあるものを使用してください。
- ・注水ストッパーを開ける時は必ずポンプカバーを締めてください。ポンプカバーが開いている時に注水ストッパーを開けると、イリゲーションチューブ先端から生理食塩水等が流れ出ます。
- ・バック内の液量が少なくなってきた時は、一度使用を止め新しいバックに交換して注水に問題ないことを確認してから使用を再開してください。